

## シュクコンカスミソウの隔離床栽培技術

農業研究センター 農産園芸研究所 花き部

担当者：金子 英一

### 研究のねらい

シュクコンカスミソウの徒長・軟弱等の品質低下対策として、隔離床栽培が導入されているが、隔離床での栽培技術は不明な点が多いため、マルチ被覆の効果や摘心方法と収穫本数・品質との関係などを明らかにする。

### 研究の成果

- 1 通気性があり、光の反射率の高いポリオレフィン長繊維不織布（タイベック 700AG）のマルチにより、開花が2週間程度早まり、切り花のボリュームが向上する。（「農業の新しい技術第8号」平成8年4月）
- 2 定植前の摘心では、ボリュームのある切り花が得られるが、採花本数は少ない。摘心時期が遅く、摘心位置が高いとボリュームは劣るが、採花本数が多くなる。
- 3 アゼナミによる簡易隔離床では、用土が深いほどボリュームは優るが、頂花近くの節間長が悪くなり、深さ40cmでは開花が遅れる。ボリュームが確保され、開花が遅れない深さ30cmが適当である。

### 普及上の留意点

試験に使用した用土は腐植質黒ボク土であり、他の土壌では異なる可能性がある。

表1 マルチの種類が切花形質に及ぼす影響

試験区	開花日	切花長	節数	切花重	花序の分岐数	曲がり	節間長			最下位側枝長
							1	2	3	
	月 日	cm		g		cm	mm	mm	mm	cm
無 マルチ	11 23	105	20.0(11.5)	53(33)	4.7	24	15	21	31	45
タイベック700AG	11 9	109	17.9(9.5)	85(41)	5.1	27	22	32	44	64
ポリシャイン-N	11 13	113	18.2(9.2)	85(44)	5.3	37	28	37	47	66
白黒ダブル	11 16	105	18.3(10.2)	65(41)	5.1	34	23	32	42	59

注) 定植9月1日、摘心9月14日、( )内は切花長80cmの数値。  
 曲がりは80cmの切花の基部を水平に固定したときの頂花の下垂距離。  
 最下位側枝長は切花長80cmの切花の最下位側枝の長さ。

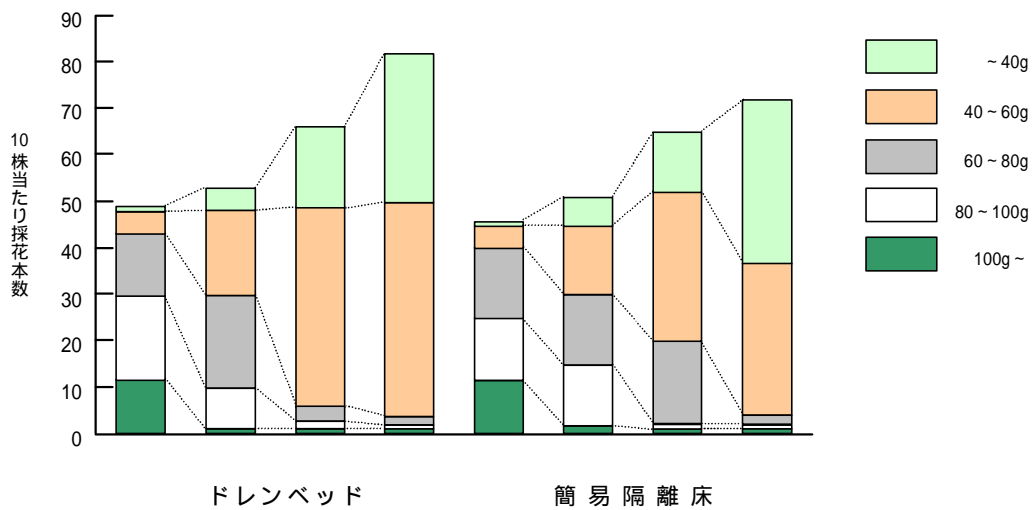
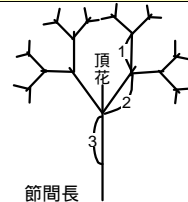


図1 摘心時期及び摘心節位が切り花重別の採花本数に及ぼす影響

注) 試験区 : 定植7日前摘心 : 定植10日後10節で摘心  
 : 定植28日後10節で摘心 : 定植28日後14~15節で摘心  
 切花長80cmの重さが15g以下のものは調査対象外とした。

表2 簡易隔離床の用土の深さが開花及び切花形質に及ぼす影響

用土の深さ	開花日	切花長	節数	切花重	花序の分岐数	曲がり	節間長			最下位側枝長
							1	2	3	
cm	月 日	cm		g		cm	mm	mm	mm	cm
20	1 7	122	16.8(8.8)	59(27)	5.1	24	22	30	40	54
30	1 7	126	15.8(8.3)	72(29)	5.2	24	24	32	46	60
40	1 11	129	16.0(8.2)	79(31)	5.2	26	26	35	49	61

注) 隔離床はアゼナミを底面、側面に用い作成。定植9月29日、摘心10月19日。  
 ( )内は切花長80cmの数値。